

松島町教育委員会会議議事録（令和7年12月定例会）

- 1 招 集 月 日 令和7年12月22日（月曜日）
- 2 招 集 場 所 松島町役場庁舎3階 301会議室
- 3 出 席 者 内海俊行教育長、鈴木康夫教育長職務代理者、佐藤晴子委員、小澤晴司委員、櫻井智恵委員
- 4 説明のため出席した者  
蜂谷文也課長、松村武文学校教育班長、齋藤幹雄生涯学習班長、森田義史町史編さん室長、赤間香澄中央公民館長、越野博之学校給食センター所長、金津晶子学校教育班主査
- 5 議 事 日 程
  1. 開会 令和7年12月22日（月曜日）午前9時30分 開会（録音開始）
  2. 前回委員会の議事録の承認
  3. 議事録署名委員の指名 鈴木委員、佐藤委員
  4. 報告事項
    - (1) 一般事務報告
    - (2) 教育長報告
    - (3) 令和7年第4回松島町議会定例会について
  5. 協議事項
    - (1) 令和8年1月定例会について
  6. 閉会

## 6 議 事 録

### 1. 開会 午前9時30分

〔金津主査〕 それでは、ただいまより松島町教育委員会令和7年12月定例会を開会いたします。

開会の挨拶を内海教育長よりお願いいたします。

〔内海教育長〕 皆さん、おはようございます。

子供たちもあと残すところ2日となり、12月24日から1月7日まで15日間の休みということになります。大きな事故も報告ありません。保護者の皆さまには、経験の拡大、日頃の学校教育で経験できない部分、例えば大掃除とか、元朝参りとか、普段できないような経験をたくさんさせてくださいということでお話しさせていただいております。1つ目がそれでございます。

2つ目は、令和8年2月24日で任期満了を迎えます小澤先生の再任につきまして、先日開われました令和7年第4回松島町議会定例会で、満場一致で同意を得ました。後日、町長から辞令を交付させていただきますが、任期は令和8年2月25日から令和12年2月24日まで4年間、またどうぞ教育委員会にいろいろご指導いただければと思います。よろしくをお願いいたします。

3つ目は、松島町議会議員選挙が行われ4名の議員さんが新人ということになりました。一般質問の内容も若干今までと違っていろんな質問がありました。この要旨については後ほど蜂谷次長のほうからお話しさせていただきます。

それから、働き方改革ということで、これが加速的に進んでおりますので、その話も若干お話しさせていただきます。

以上でございます。

### 2. 前回委員会の議事録の承認

〔金津主査〕 続きまして、2番、前回委員会の議事録の承認について、11月定例会の議事録について、配付のとおり承認ということでよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）ありがとうございます。

定例会終了後に署名をお願いいたします。

### 3. 議事録署名委員の指名

〔金津主査〕 続きまして、3番、議事録署名委員の指名となります。

今回は鈴木委員と佐藤委員を指名させていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 4. 報告事項

#### (1) 一般事務報告

〔金津主査〕 続きまして、4番、報告事項に移ります。

(1) 一般事務報告について、初めに、学校教育班から報告いたします。

〔松村班長〕 それでは、資料1ページになります。

行事報告からご説明いたします。

初めに11月分です。

29日、宮城県中学校新人大会の剣道が大崎市田尻総合体育館で開催され、1年生の遠藤悠朱さんが女子個人戦で第3位、2年生の大友歩さんが男子個人戦で第5位の成績を収めております。

続いて12月分です。

6日、各幼稚園で生活発表会が開催されました。園児たちは、大勢の保護者等の前で緊張しながらも日頃の生活の成果を十分に発揮し、ダンスや劇、楽器演奏等を披露しておりました。

11日、松島町要保護児童対策地域協議会代表者会議が文化観光交流館で開催され、教育長及び次長が出席しております。

14日、松島五大堂太鼓の会創立30周年記念演奏会が文化観光交流館で開催され、教育長が出席しております。

15日から19日まで、議会12月定例会が開会されました。教育委員会委員の人事案件、指定管理者の指定2件、令和7年度一般会計補正予算の計上について審議され、全て原案のとおり同意または議決を受けております。

なお、一般質問の詳細につきましては後ほどご報告いたします。

引き続きまして、主な行事予定についてです

初めに12月分です。

12月23日、各幼稚園、各小学校・中学校で第2学期の終業式となり、翌24日から翌年1月7日までの15日間、冬季

休業日となります。

続いて1月分です。

8日、各幼稚園、各小学校・中学校で第3学期の始業式となります。

15日、第5回仙台管内教育委員会教育長会議が合同庁舎で開催予定であり、教育長が出席予定です。

学校教育班からは以上となります。

〔金津主査〕続きまして、学校給食センターからお願いいたします。

〔越野所長〕学校給食センターです。

初めに、行事報告になります。

12月4日、学校給食会さんが毎年実施しております給食用のパンや米飯の委託加工工場の立入検査というものがございまして、今回の検査対象が本町の給食用ご飯を担当しております有限会社古川米飯給食センター（きゅうせい堂さん）ということでありましたので、当日、私が同行させていただきまして、給食米飯の調理状況、あとは設備や施設、衛生管理等について見学、確認してきたところでございます。結果としましては、HACCPに基づいた衛生管理を徹底し、異物混入や食中毒のリスクを最低限に抑えるよう努めているといったことでありました。

次に、12月15日、松島中学校1年生の考案献立ということで、「食べてみたい給食～バランス意識～」というメニューの提供を行ったところでございます。

12月22日、本日でありますけれども、全ての幼稚園・小・中学校におきまして、2学期の給食提供の最終日となっております。

続きまして、行事予定になります。

1月8日、9日、3学期の給食提供が順次開始予定となっております。1月8日は松島中学校、9日に全ての幼稚園と小学校で提供開始となります。

1月14日につきましては、松島中学校1年生の考案献立第2弾ということで、「和風定食」というメニューを提供予定となっております。

1月26日につきましては、1月24日から30日までの全国学校給食週間に基づきまして、食育推進としましてセリ鍋やモウカザメの甘辛焼き、このような郷土料理のほか、松島たけのこをはじめとしました地元の食材をふんだんに活用した献立の提供を予定しております。

最後に、1月下旬と記載しております令和7年度第2回学校給食担当者会議につきましては、先日、1月22日の開催ということで決定しましたので、この場を借りてご報告させていただきます。

学校給食センターにつきましては以上となります。

〔金津主査〕それでは、学校教育班、学校給食センターの報告について、ご質問等ございませんでしょうか。

（質疑）

佐藤委員

まず、子供たち、児童生徒、幼児も大きな事故もなく過ごせたということが安心いたしました。子供たちの生活にも必ず関わってまいりますので、よかったなと思いました。

3点お話しさせていただいて、1点質問させていただきます。

1点目が、各種の表彰の様子が子供たちの成長を感じるなと思いました。いじめ動画コンクールとか交通安全、それから読書感想文、福祉の標語といった色々な校外の応募作品に参加することで、外部の方からもやはり認められているということが子供たちの自信にもつながると思います。

2点目は、聞く姿がまたよかったなと思います。これは、幼稚園から中学校まで、ホームページを拝見しますと、やっぱり子供たちしっかり話を聞いて一生懸命にやっている姿が見られましたので、とてもいいなと思います。

3点目です。松中で行われた幼児と保育の交流について、これはまさに縦のつながりということで、お兄さん、お姉さんにとってはやっぱりその子供たちへの接し方、幼児への接し方というところで学ぶところがあるでしょうし、子供たちは憧れのお兄さん、お姉さんということで、うれしい時間になったのではないかなと思いました。

質問を1点、給食センターさんにさせていただきます。12月4日に立入検査があったということでございましたけれども、これは毎年やっているものなのか、その時期であったり、それからこの業者さんが選ばれたという理由についてお教えいただければと思います。

越野所長

立入検査につきましては、毎年、学校給食会が主導でやっており、本町のご飯担当の業者さんにつきましては、順番に当たるのですが、今回その番だったということで同行させていただいたところでは、

佐藤委員 時間的にはどれぐらいの時間ですか。  
越野所長 朝7時の炊飯開始から搬出までの2時間程度です。  
佐藤委員 その様子をご覧いただいて、その後で指導いただくという形なのですか。  
越野所長 特にその場での指導とかではなく、指導が必要な場合は給食会さんのほうが直接後でやり取りし、その内容を後日教えていただく形となります。  
佐藤委員 分かりました。ありがとうございます。今後とも安心・安全な給食ということで、またよろしくお願ひしたいと思ひます。  
小澤委員 全く基本的なことでの質問ですが、給食は、これは児童生徒はもちろんそうなんでしょうけれども、学校の先生方も一緒に同じものを食べるんでしょうか。

内海教育長 同じものを食べます。

〔金津主査〕 続けさせていただきます。

続きまして、生涯学習班からお願いいたします。

〔齋藤班長〕 生涯学習班の行事報告について説明いたします。

資料は3ページをご覧ください。

12月20日土曜日に、社会教育の一環としまして、まつしま放課後子ども教室三校合同イベント「防災キャンプ」を石田沢防災センターで開催しました。小学校1年生から6年生までの18名の児童が参加し、松島女性防火クラブ連合等から協力をもらい、防災チャレンジと称し、災害時に使える日用品などの使用方法ということで、缶切りやマッチを使って作業をしたり、避難体験として段ボール素材の簡易トイレの使用体験、アルミ、新聞紙を使って身近なもので暖まるということで体験を行いました。参加児童は楽しみながらも真剣に各体験に取り組んでいました。

続きまして、行事予定について主なものを説明させていただきます。

12月28日土曜日から、生涯学習班所管の社会体育施設が年末年始の休園・休館日となります。松島運動公園及びB&G海洋センターについては来年の1月4日日曜日まで、温水プールは1月5日月曜日までの休館となります。

次に、1月23日に、第72回文化財防火デー消防訓練を瑞巖寺で開催します。松島町、瑞巖寺、教育委員会の共催事業であり、参加団体としましては陸上自衛隊反町分屯地、松島消防団、松島女性防火クラブ連合などと合同で、本堂脇の庫裏で電気制御盤から出火し本堂に延焼のおそれがあるという想定の下、訓練を実施します。

生涯学習班からは以上となります。

〔金津主査〕 続きまして、町史編さん室からお願いいたします。

〔森田室長〕 町史編さん室の報告につきましては4ページとなります。

行事報告です。

12月21日日曜日に、手樽地域交流センターにおきまして石器作り体験を行いました。講師に山形県の東北芸術工科大学のほうから佐藤准教授をお願いしまして、この方はすごく石器作りがうまくて、日本でも5本の指に入っているのではないかと自分でも豪語されていましたが、なかなか石器作り難しかったんですが、小学生を含めて20名ほどの参加がありまして、盛り上がったかなと思います。

行事予定につきましては、大きなものはありません。

以上です。

〔金津主査〕 続きまして、中央公民館からお願いいたします。

〔赤間館長〕 それでは、5ページになります。

12月3日水曜日ですが、MOA美術館仙台・宮城児童作品展ということで、巡回展を文化観光交流館のほうで開催いたしました。町内から出展された45点を展示いたしました。

12月7日日曜日ですが、CHRISTMAS CONCERT IIということで、町内にゆかりのある宮城県内の若手音楽家による演奏会を開催いたしました。70名参加となりました。

同日ですが、サバイバル飯教室ということで、いちょうの会が主催となり、防災士である岸恵美子先生が講演しました。「電気が使えなかったらどうする？こんな料理いかがですか」ということで、ツナ缶と野菜カレー、はんぺんで作る伊達巻きというものにチャレンジしました。こちらのほうは7名の参加になっております。

12月13日土曜日ですが、成人式実行委員会議を開催いたしました。いよいよ迫ってまいりました成人式に向けて、実行委員会のほうでも一生懸命今煮詰めているところでございます。

次に、行事予定でございます。

12月24日水曜日ですが、和菓子教室ということで、練り切り3点とシュトーレンを作る予定となっております。

1月11日日曜日ですが、第77回成人式（二十歳を祝う会）式典が10時から開催されます。112名の成人予定者を

迎えますして開催することとなっております。当日の午後には、こちらのほうには記載ございませんが、分館長会議も開催する予定となっております。

以上です。

〔金津主査〕 それでは、生涯学習班、町史編さん室及び中央公民館の報告について、ご質問等ございませんでしょうか。

(質疑)

鈴木委員 ちょっといいですか。学校給食に戻って質問するのですが、中学1年生考案の献立は2回で終わりですか。

越野所長 3クラス分で3回実施します。

鈴木委員 これは、作って試作したものを全員で食べるのですか。それとも考案したクラスだけで食べるのですか。

越野所長 全施設です。

鈴木委員 そうすると、中学3年生まで食べることになるという事ですか。

越野所長 そうです。幼稚園から中学校までです。

鈴木委員 幼稚園。小学校も。

越野所長 はい。

鈴木委員 モウカザメ使っているとの話でしたよね。

越野所長 はい、全国学校給食週間なので。

鈴木委員 モウカザメ、幼稚園や小学校でも食べるということですか。

越野所長 はい。

鈴木委員 予算もかかりますよね。

越野所長 調整させていただいて提供しております。

鈴木委員 食べてみたいですね。すごい。素晴らしい。

色々で献立考案する中でアドバイザーはいるのですか。

越野所長 事前に栄養教員が授業を行いまして、そのときに考案されたメニューを給食として提供させていただいているということです。

鈴木委員 教室の中で試作するということですか。

越野所長 実際試作はしないで、授業の中でこういったメニューをつくりましょうかという、例えば栄養バランスを考えたりですとか、作りやすさとか。授業の中で考えたものを、実際に給食として提供するような形です。

小澤委員 興味本位の質問ですけども、生涯学習班の25日仙台管内地方青年文化祭、この青年というのは大体何歳ぐらいまで青年で入ってられるのかというのと、次は、町史編さん室の石器作り体験で、今のように災害が多発するような状況ですと、こういった技術が災害時に役に立つとか、5本の指の先生からはそういうテクニカルなコメントがあったのかどうかという、その2点についてお願いいたします。

齋藤班長 青年文化祭のほうの年齢の対象は30歳ぐらいまでとは言われているのですが、現場のほうは高校生とか二十歳前後の大学生とかがメインになっています。

森田室長 石器作り体験に関しましては、防災的な意味合いじゃなく、本当に歴史の旧石器時代とか縄文時代に作っていた作り方を、その先生が石を川原から拾ってきて鹿の角で割るみたいな原始的な方法で体験するので、防災のほうには使っていないかなという、そういう体験でした。

鈴木委員 私の孫が認定子ども園に在籍しており、イベントがあったので行って見て気になったことがあったのですが、認定子ども園に対して町の教育委員会は中身についてはどの程度タッチするのかなというのがちょっと、そこら辺どういうふうに考えているか教えてください。

内海教育長 認定子ども園については社会福祉協議会といいつつも民間ということで、教育委員会が直接介入等は行っていません。入園式や卒園式に私が呼ばれるということはありません。

保幼小連携ということで、認定子ども園にしても幼稚園にしても保育所にしても、子供たちはいずれ町立の小学校に入りますので、いろいろなやり方、考え方は同じにして小学校に入っただけということで、例えば、細かくは決めませんが、箸の持ち方はどうしたらいいのか、名前は書けたほうがいいのか、読めたほうがいいのか。今までは町立の幼稚園と保育所はある程度暗黙の了解があったのですが、民間の認定子ども園ができたので、そこら辺をそろえたほうが、小

学校に入学したときに小1プロブレムという問題が解消されて、ほかの市町村は私立が多くて、なかなかその土俵に乗ってこないということがあるようなのですが、松島町は認定こども園、保育所、幼稚園に来ていただいて、いろいろ考え方を合わせながら小学校に送り出すということで、ある程度、初期の目的が達成されているのではないかなということです。

鈴木委員 了解です。

## (2) 教育長報告

〔金津主査〕 それでは、進めさせていただきます。

(2) 教育長報告に移ります。内海教育長、お願いいたします。

〔内海教育長〕 私のほうから、長い資料ですけれども、簡単にお話しさせていただきます。

9ページをご覧ください。

業務量管理・健康確保措置の実施計画ということで、働き方を組み上げて急速に進めましょうと。急速にというか、早急にという形で進めなくてはいけなくなりました。その根拠となるのが、今まで残業手当として給料に4%ついていましたので、それを毎年1%ずつ上げていくことで、国の方も働き方改革もどんどん進行していかないと駄目なので手当を上げるけれどもこっちもしなさいよというような形になります。

それで、学校の先生には4%の手当が今給料ついています。ほかの新しい職業の給料をもらった人よりは4%分、高いですね。何だ、学校の先生給料高いなと思うかもしれませんが、残業手当がもう既に4%の中に入っているということで、4%という1か月8時間くらいの残業手当になっています。8時間なんてすぐ終わっちゃいますよね。それを10%まで上げていこうということで、10%まで上げて20時間なるかならないかという話だそうです。

21ページをご覧になっていただきたいのですが、まず、左、学校以外が担うべき業務という、学校がやる必要はないのではないですかという。登下校時の通学路における見守り活動とか、そういうものを地域の人にお任せしたらいいのではないですかと。真ん中に行きます。教師以外が積極的に参画すべき業務。今まで教師が調査・統計とかやっていて、あとプール等、それから広報活動、そういうのをどこかに委託したり誰かにボランティアで頼んだりしたほうがいいのかと。ボランティアだって十分にやれますよ、委託すればお金かかるけれどもやれますよということ。一番右、教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務。給食の時間における対応とか、評価、子供たちの成績処理、丸つけるのは先生だとしても、それをデータ化するのはもう先生以外でも十分にできるのではないかと。守秘義務がかかっている話ですけれども、そういうような3つの分類で、19目あります。これを19目減らすような管理計画を来年の4月からスタートしていく、計画を立ててスタートしてくださいということです。

それで、もう1回、恐縮ですが、前に戻ります。12ページをご覧ください。

1か月で45時間を目指してください、1年間で360時間を超えないように残業してくださいねというような形でやっていきますけれども、最終的には令和11年までには30時間程度残業を減らしてください。真ん中に月30時間とあるのですけれども、そこまで減らしてくださいと。ところが、一番下をご覧ください。小学校は月大体33時間の平均となっていますが、中学校は月62時間の平均です。こんな感じを30時間まで減らしていくというのは相当な努力が必要です。

それで、そのためにいろいろ13ページから書いておきました。

14ページかな、全部しゃべるともう何時間もかかってしまうのだけれども、14ページの目標、働くのは働くのだけれども、真ん中、目標の(1)の丸の真ん中、ワーク・ライフ・バランスや働きがい等に関する目標、先生方、校長先生とお話して、年次休暇を10日以上取りましょうと、1年間で。本当は赤の年次休業が20時間あるのだけれども、いきなり20時間取ると病気とかあったとき、あと子育ての赤ちゃんとかいろいろ先生は年休取らなくちゃならないということで、10日も取ればいいのかと。それから、男性の育児休暇30%、ちょっと30%というの、根拠もなかなか難しいのですけれども、取りあえずつくってみましたという感じで、1年目はこれでスタートして、不都合が生じた場合にはこれを30%から変えていきたいと思っております。それから、定時退庁を年間20回以上実施している学校の割合を100%、定時退庁日を年間20回以上だから1週間に1回か2回をやって20にしていこうということで、こういうのを作成していきました。

最終的には、あと読んでいただきたいのですが、19目について松島町教育委員会はどうしたらいいのかという方策を書いてありますので、今日この資料をもって考え方を聞いても難しい話なので、総合教育会議でもう1回、教育委員さんたちにはそこで気づいたこと、ここはどうなのかということをお話ししてもらって、これを最終的に書き直して4月に合わせていきたいと思っております。

22ページ、チェックリストでございます。これも校長先生方とこれを使ってもやれるそうだから、これ使いな

が少しずつ毎年変えていって、先生方に沿った形の学校退庁というのは早めにやっていこうじゃないかという  
ような話になっております。

なかなか大変な騒ぎで、給料を上げてもらうのはいいのですけれども、片方でこういうような縛りが出てきて、  
なかなかだなと思っております。

中学校の校長先生から即言われました。厳しいと。部活がある限り、令和11年の30時間は全く厳しいと。部活  
でも切り離さないとやっていけないということで、いろんなこれ見ていただいてご意見出てくるかと思いま  
すので、総合教育会議まで見ていただいて、そのときにご意見たくさんいただければ私としてもうれしいなと思いま  
すので、今日は本当にさわりのさわりしかお話しできませんでしたが、どうぞよろしく申し上げます。

以上でございます。

〔金津主査〕ありがとうございました。

では、ただいまの教育長からの報告につきまして、ご質問等ございませんか。

(質疑)

鈴木委員 この計画を作成するに当たって、他の市町村で前例として進めているところはあるのでし  
ょうか。このモデルというのはすごいなと思っているのですけれども。

内海教育長 モデルは私が考えて、文科省の資料にある19目に合わせて作りました。4月スタートなので、  
まだつくっていないところがあると思われませんが、取りあえず4月1日にスタートということで。

鈴木委員 そうすると、県内各市町村も4月1日スタートを目指して作っているのでしょうか。

内海教育長 作成していると思います。それで、市町村によっては、正直言うと19目に対応しなくてもい  
いと、19目に対してどのような方策があるのかなと勉強がてら書いてみましょうということで。  
2年目から必要ないなという部分があれば切っけていききたいとは思っているのですけれども、そんな感じ  
で19目書いております。

また、これはコミュニティ・スクールあたりでお話ししていこうと思っております。まずは総  
合教育会議で承認もらったら、少しずつまた外に出していきたいと思っております。

佐藤委員 まずはお疲れさまでございます。やっぱり今までの働き方を改革していくところなの  
で、具体の数値であったり、そういったことをきちっと明示されているのが非常にいいのと、ま  
ずざっくり見させていただいて、それは思いました。そして、できないできないと言っているも  
仕方がないので、まずはこういうところからやってみようというところでお示しすることが私は重  
要だと思っていて、ただ、その中で、ここはやっぱりこういうふうにするようにできるとなりま  
すよという何か代案が出てくるといいのかなとは思いました。

内海教育長 おっしゃるとおりで、これはもういいかなというものの中にはあります。あと、他市町村が出て  
きたときに、他市町村のいいかもしれないというものも取り入れられますので、ただ、他市町  
村はまだまだここに手を付けていないというような情報も聞かれますので、まず作っておいて、  
段取り的には総合教育会議、コミュニティ・スクールといろんな方々に行って、あと表に出てい  
くという形を取りたいと思っております。

以上でございます。

### (3) 令和7年第4回松島町議会定例会について

〔金津主査〕それでは、次に進めさせていただきます。

(3) 令和7年第4回松島町議会定例会について、蜂谷次長よりお願いいたします。

〔蜂谷教育次長兼課長〕それでは、令和7年第4回松島町議会定例会について説明させていただきます。

まず初めに、資料ございませんけれども、前回の教育委員会定例会で承認をいただきました運動公園、それか  
らプールの指定管理の指定、さらに一般会計の補正予算、それから、先ほど教育長からも話がございましたが、  
小澤委員さんの教育委員の任命についてということで可決、同意をいただいておりますことを報告させていた  
できます。

次に、本日お配りしているこのA3判の資料によりまして、一般質問、教育委員会分の要旨を説明させていた  
できます。

今回は9番安部孝議員と1番熊谷拓郎議員の2名からの質問となっております。

安部孝議員からは、小中学校の再編統合の検討についてという質問において、(1)で現在の児童生徒数の状況  
についてという通告でしたが、回答要旨としては、小学生が495人、中学生が236人となっており、5年前と比べて  
小学生が34人、中学生は35人減少している旨の答弁をしております。(2)では教育環境、校舎の整備についての

認識を伺うとの通告に対しまして、教育環境の整備では、要望などを踏まえ慎重に検討が必要であるとのことご答弁を行っております。

次に、1番熊谷拓郎議員から、これからの町の子育てと教育の充実についての質問におきまして、小学校では子ども国際観光科により英語学習への意欲が高まっている一方、中学校では英語を苦手とする生徒が多いとの声がある。こうした状況を踏まえ、学力の基礎を支えるため、公営塾の設置や通塾費用の支援について町の考えを問うということでの通告がございました。これに対する答弁といたしまして、子ども国際観光科では一定の成果が見られるが、中学校で英語を苦手とする生徒が増えるのは全国的傾向である。町としては教員の指導力向上と授業の充実により基礎・基本の定着を図る考えであり、現時点で公営塾の設置や通塾費用の支援を行う予定はないとの答弁を行っております。

私のほうからは以上となります。

〔金津主査〕ただいまの報告につきまして、ご質問等ございませんでしょうか。

## 5. 協議事項

### (1) 令和8年1月定例会について

日程案：令和8年1月30日（金） 午前10時30分 松島第一小学校会議室

〔金津主査〕それでは、進めさせていただきます。

5番、協議事項(1) 令和8年1月定例会について、日程案としまして、年明け1月30日金曜日、午前10時30分から、松島第一小学校会議室で予定しております。

なお、当日は定例会終了後に、かねてお話をいただいております学校給食の試食を予定しております。

恐れ入りますが280円頂戴いたしますので、可能な限りお釣りがないようにご協力いただければと思います。

繰り返しになりますが、定例会の会場が第一小学校になりまして、時間も10時30分を予定しておりますので、お間違いのないようお願いいたします。お車を駐車される際には、この資料にありますようにプールの南側にあります広場に駐車いただき、点線で示しているようなルートで学校玄関へおいでいただきたいと思います。こちらの日程でよろしいでしょうか。

よろしく願いいたします。

## 6. 閉会 午前10時15分

〔金津主査〕それでは、閉会に移らせていただきます。

閉会の挨拶を鈴木教育長職務代理者よりお願いいたします。

〔鈴木委員〕あさってから2週間の冬休みになりますが、3学期の始業式に元気にまた子ども達が登校できればいいなと思います。

今日も色々と話があった中で、先生たちの業務量とか、客観視した戦略でやっていくことになるのだなと思いました。総合教育会議やコミュニティ・スクールで情報共有していくことが大事であり、取り組んでいくべきかなと思いました。

あと、議員からの今後活発な質問がいっぱいあるかと思うのですが、しっかりした対応をしていこうかなと思います。よろしく願います。ご苦労さまでした。

〔金津主査〕以上をもちまして令和7年12月定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

この会議録の作成者は、次のとおりである。

教育課学校教育班 主査 金津 晶子

上記会議録が正確であることを認め、ここに署名する。

令和8年1月30日

委 員

委 員